

話すこと・聞くこと

構成を工夫して話すことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

- 6 次は、竹内さんが、自動車工場で見学したことをもとに、分かったことや考えたことを説明した内容の一部です。竹内さんは、説明をどのようにくふうしていますか。最もふさわしいものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明した内容の一部】～略

- 1 聞き手に問いかけながら説明している。
- 2 見学に行った理由を最初に説明している。
- 3 話の全体構成を伝えてから説明している。
- 4 工場で見学したことを全部説明している。

(参考)

平成20年度 A5

スピーチの内容に即して、カードを並び替える。

平成20年度 A6

下書きの文章と発表原稿とを比べ、工夫したところを書く。

【出題の趣旨】

- 聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容等】

第5・6学年 「A 話すこと・聞くこと」

- (イ) 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

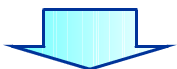
□ 解答類型

解答類型	北海道(合算)	全国	全国との差
3 と解答しているもの(正答)	80.0	83.2	-3.2
1 と解答しているもの	4.2	3.6	0.6
2 と解答しているもの	3.3	2.5	0.8
4 と解答しているもの	10.9	9.7	1.2
上記以外の解答	0.1	0.1	0
無解答	1.6	1.0	0.6

□ 授業改善のポイント

課題

説明の工夫をとらえることができていない。



聞き手が理解しやすいように、説明を工夫して話すために

改善

- 説明や報告、紹介など、スピーチの種類や特徴を踏まえて構成を工夫する活動を取り入れる。
- 話の冒頭部で説明の概略や柱立てを述べるよさを理解させる活動を取り入れる。

書くこと

文と文とのつながりを理解して書くことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

- 4 児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、昨年の反省をもとに【メモ】に取ったあと、児童会だよりに書きました。【児童会だよりの一部】の②アの中に入るふさわしい内容を、①の書き方と同じように書きましょう。

【メモ】

- ◆ 運動会の前に体調をくずした人がいた。→健康に気をつける。
- ◆ 開会式の集合時こくにおくれた人がいた。→早めに行動する。

【児童会だよりの一部】

- ① 運動会の前には体調をくずさないように、健康に気をつけること。
 ② ア 早めに行動すること。

(参考)

平成19年度 A5
 一文を二文に分けて書く。

平成21年度 A8
 接続語を使って一文を二文に分けて書く。

【出題の趣旨】

- 文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容】

第5・6学年 「B 書くこと」

- (ウ) 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

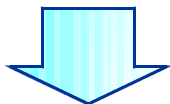
□ 解答類型

解答類型	北海道(合算)	全国	全国との差
1 「開会式の集合時こくにおくれないように」(正答)	47.4	51.9	-4.5
2 「ないように」を使って意味を変えないで解答している(正答)	4.1	3.6	0.5
3 「ないように」を使わず意味を変えないで解答している(正答)	5.3	4.8	0.5
上記以外の解答	40.2	37.7	2.5
無解答	2.9	2.0	0.9

□ 授業改善のポイント

課題

文の論理を理解し、目的や課題に応じて書き換えることができていない。
 設問で指示された文の構成に合わせて書くことができていない。



目的や課題に応じて文や文章を適切に書き換えることができるように

改善

- 二文を一文にまとめたり、複文や重文を接続語を使って二文に書き分けるなど、文の論理を考え、構成を整えて書く活動を取り入れる。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする活動を取り入れる。

読むこと

文学的な文章を読むことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

- 3 次は、『たったひとりの伝説』という物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。ア・イウの中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましょう。

(参考)

平成19年度 A10

物語の一部を読んで、登場人物の心情として適切なものを選択する。

【出題の趣旨】

- 文学的な文章に登場する人物を相互に関連付けて読むことができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容】

第5・6学年 「C 読むこと」

- (エ) 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

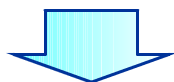
□ 解答類型

解答類型	道(平均正答率)	国(平均正答率)	全国との差
1 ア「母さん」イ「おじいちゃん」ウ「ぼく」(正答)	50.7	53.1	-2.4
2 1と同じ意味で言葉が違う解答(正答)	8.4	11.9	-3.5
上記以外の解答	38.1	33.2	4.9
無解答	2.7	1.8	0.9

□ 授業改善のポイント

課題

- 文脈に沿った人物を解答することができていない。
- 出題の指示にある「本文中の言葉を使って」解答することができていない。
- 人物を表す言葉で解答することができていない。



描写に着目しながら登場する人物の相互関係をとらえるために

改善

- 登場人物の人物像や役割をとらえ、相互の関係を整理しながら読む活動を取り入れる。
- 「C読むこと」における指導事項を確認し、系統性を踏まえた指導を行う。

言語事項

学習した漢字を使って書くことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

(参考)

漢字を読んだり書いたりする問題は、毎年出題されている。

- 1 次の(1)から(3)までの文の — 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。
- (1) ひさ しぶりに おじさんに会う。
 - (2) ぎじゅつ が進歩する。
 - (3) 星の位置が へんか する。

【出題の趣旨】

- 学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

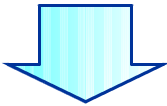
【新学習指導要領における領域・内容】

第5・6学年 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

- 授業改善のポイント

課題

学習した漢字の定着が図られていない。
書いた漢字が正しく認識されるよう丁寧に書くことができていない。



学習した漢字を使って正しく書くことができるように

改善

- 学習した漢字を各教科等の学習で意図的に使ったり、学期末や学年末など長期的なスパンで定着状況を振り返る機会を設けたりするなど、繰り返し定着を図る指導を工夫する。
- 書写の指導との関連を図り、文字を正しく整えて書くことへの必要感を高める指導を工夫する。

話すこと・聞くこと

論理の展開の仕方をとらえ、内容を理解することに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

③ 竹田さんの学校では、生徒会選挙が行われています。次は、生徒会長に立候補した青山さんと小川さんの【演説の一部】です。

※【演説の一部】～略

一 青山さんと小川さんの【演説の一部】を比較すると、二人の話し方にはそれぞれ特徴があることが分かります。青山さんの話し方にはどのような特徴がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 青山さんは、聞き手の興味や関心を引き付けるために、質問を交えながら話している。
- 2 青山さんは、自分の実績を詳しく説明するために、様々なたとえを用いて話している。
- 3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くして話している。
- 4 青山さんは、自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話している。

(参考)

平成19年度 小学校A7

自分の一年間の目標を、学級でスピーチをすることになりました。聞き手に分かりやすい話し方として、ふさわしいものを次の1から5までの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

【出題の趣旨】

- 表現の仕方に注意して説得力のある話をするができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容】

第1学年 「A 話すこと・聞くこと」

(ウ) 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

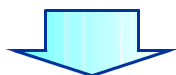
□ 解答類型

解答類型	道(平均正答率)	国(平均正答率)	全国との差
3と解答しているもの	58.6	58.9	-0.3
1と解答しているもの	2.9	2.7	0.2
2と解答しているもの	33.1	33.2	-0.1
4と解答しているもの	4.9	4.6	0.3
上記以外の解答	0.1	0.1	0
無解答	0.3	0.5	-0.2

□ 授業改善のポイント

課題

スピーチを聞いて、話し方の工夫をとらえることができていない。



表現の仕方に注意して話したり聞き取ったりするために

改善

- スピーチの内容だけでなく、一文の長さ、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方など、話し方も意識して話したり聞いたりできるようにする。

書くこと

相手に応じて表現を工夫して書くことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

- ⑨ 第一中学校では、生徒会主催の地域清掃活動を行う予定です。次は、生徒会が作成している【案内文A】と【案内文B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。
二 【案内文B】は、小学生に向けて書いています。【案内文A】を参考にして□□に入る一文を書きなさい。

1. 5月16日（日）午前8時から午前10時
2. 第二小学校と第一中学校の周辺

(参考)

平成19年度 小学校B4二

ちらしの中にある「みなさん、おいで」という表現は、店長の立場でお客さんに対して使う表現としてふさわしくありません。ふさわしい表現にするために「みなさん」の書き出しに続けて、一文で書きましょう。

【出題の趣旨】

- 案内文を書く際に、相手に応じて表現を工夫して書くことができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容】

第2学年及び第3学年 「B 書くこと」
(工) 事実や事柄、意見や心情や相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。

□ 解答類型

解答類型	道(平均正答率)	国(平均正答率)	全国との差
1 次の条件を満たしている解答 (正答) ①小学生に向けた適切な表現 ②【案内文A】の内容を参考にして ③一文で書いている	56.6	60.9	-4.3
2 ①、②を満たしている	6.0	5.6	0.4
3 ①、③を満たしている	10.5	5.8	4.7
4 ②、③を、満たしている	9.9	15.5	-5.6
上記以外の解答	5.3	2.8	2.5
無解答	11.6	9.3	2.3

□ 授業改善のポイント

課題

「話し言葉で書いている」「文体や敬語などが不適切である」「不必要な内容が付加されている」など、小学生に向けた公的な文章として適切に書くことができていない。



相手に応じた適切な表現で書くために

改善

- 文章の形式を理解できるよう、多様な言語活動を取り入れる。
- 様々な相手を想定して文章を書く学習を取り入れる。

読むこと

論理の展開の仕方をとらえ、内容を理解することに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

8 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(阿部昭「単純な生活」による。)

一 線部「鳥とは違う」とありますが、ここでいう「鳥とは違う」カモノハシの特徴を、次の1から6までの中から3つ選びなさい。

- 1 足が四本であること。
- 2 足に水かきが付いていること。
- 3 身体は獣毛で被われていること。
- 4 卵を生むこと。
- 5 仔は乳で育てること。
- 6 大、小便と卵の出る所が同じということ。

【出題の趣旨】

- 文章を読む際に、論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解することができるかどうかをみる。

【新学習指導要領における領域・内容】

第3学年 「C 読むこと」

- (イ) 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

□ 解答類型

解答類型	道(平均正答率)	国(平均正答率)	全国との差
1、3、5と解答しているもの(正答)	52.7	56.6	-3.9
上記以外の解答	46.9	42.9	4.0
無解答	0.4	0.5	-0.1

□ 授業改善のポイント

課題

接続詞に注意し、論理の展開の仕方をとらえ、内容を理解することができていない。



文章の展開に即して内容をとらえるために

改善

- 書かれている内容について箇条書きや表などにまとめる活動を取り入れる。

言語事項

語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使うことに関する指導のポイント

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査問題

10 三 次のアからオの文では、() の中の1から4のうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

イ 会議で決を(1 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。

【出題の趣旨】

- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

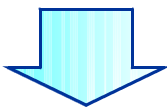
【新学習指導要領における領域・内容】

第2学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ]
(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き、語彙を豊かにすること。

- 授業改善のポイント

課題

同音異義語について理解していない。



語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うために

改善

- 類義語を取り上げ相手や場面に応じて使い分けてみたり、同音異義語を取り上げその意味の違いについて考えたりする学習活動を取り入れる。